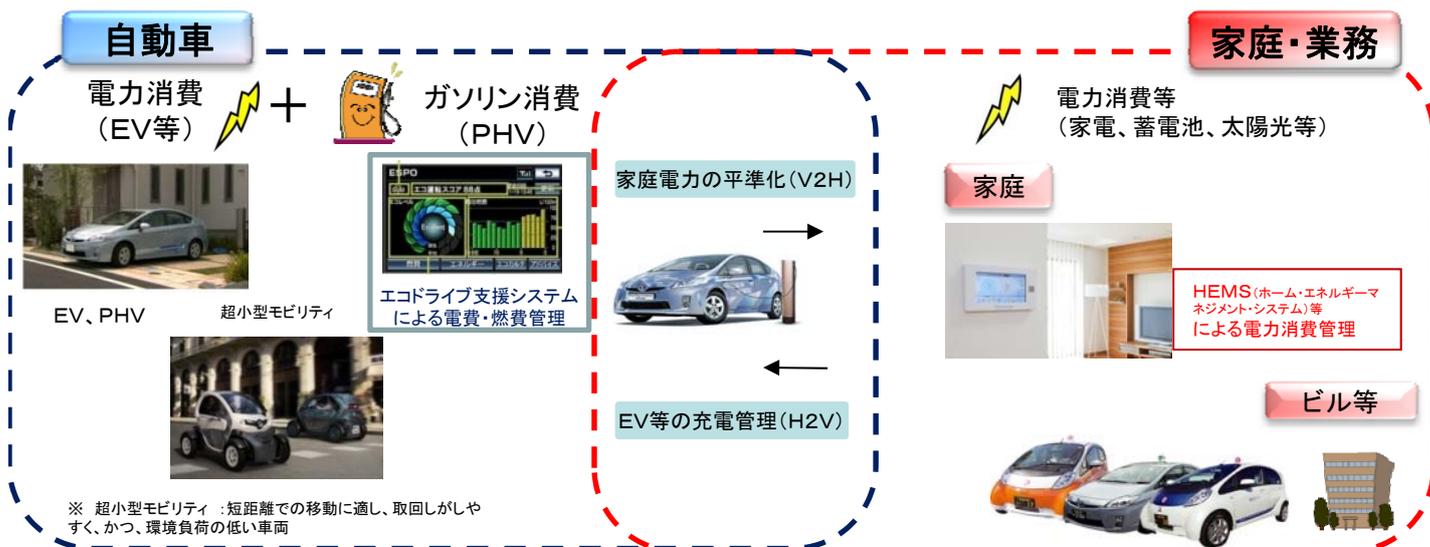


# 自動車と家庭・業務の省CO2・省エネルギー管理の一体的推進

情報通信技術を活用して自動車のエネルギー消費と家庭・業務のエネルギー消費を一体的に管理する省エネシステムの開発等を支援することで、EV等（電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、超小型モビリティ）の普及や自動車と家庭・業務の合理的な省CO2・省エネ対策を一体的に推進する。

## EV等の本格普及に伴い、自動車と家庭・業務のエネルギー管理が一体化



車載蓄電池の有効活用、効率的利用が必要

新たな視点の省エネ対策が可能に

家庭・業務部門との連携による自動車部門のエネルギー管理技術の分野において、特に実現性・効果に優れ、先導性の高い開発・検証事業を外部有識者により評価・選定の上、費用を補助。

### 住宅等との連携

《事業選定に当たっての主な視点》

#### 車載蓄電池の有効活用、効率的利用

- EV等の蓄電池を、走行以外にも有効活用（未使用電力の家庭等での活用、夜間電力の利用等）
- 電力ロスの最小化、蓄電池の耐久性の確保（毎日の利用実績に応じた充放電コントロール等）

#### 住宅等との連携によるEV等の普及促進

- 家庭等における容易な省エネ管理（エコドライブ）の実現
- 複数車種・台数の省エネの一体管理
- EV等の使いやすさ向上（航続距離の確認等）
- メーカー間の相互利用の実現

※ 住宅局「住宅・建築物省CO2先導事業」と連携して実施。